

鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

部会名	防災減災部会	会議名	第5回会議		
日付	令和6年10月18日	場所	鶴嶺東コミセン	記入者	坪井 誠
<主な内容>					
議題1 合同防災訓練開催日程					
1) 令和6年10月26日の合同防災訓練は、衆議院議員選挙の影響により中止とする。 延期候補日は、防災機材確保の観点から、5つの候補日で可能であるが、 <u>2月15日を第一候補</u> とする。 (理由) ・1月25日は地区社協の授業が開催される。 ・2月は、市職員の増員が期待できる。 ・但し、2月は寒い季節でもあり、集客は難しいという意見があった。					
2) 防災訓練場所 訓練場所は、鶴嶺中学校とする。 → 11月～翌年1月にかけて校舎や体育館のエアコン設置工事が予定されているが、1月末迄に完工見込み。					
3) 各自治会への依頼 合同防災訓練への参加は、各自治会の任意（自由参加）とする。 従って各自治会から最低2名の参加条件は、 <u>削除</u> する。					
4) 訓練内容 ・延期後の合同防災訓練の内容を決定する事が重要。 ・2月は寒い時期であるので、体育館でやる事も検討する。 ・2月の訓練では、安否確認訓練や情報伝達訓練はやらない。 ・要支援者の介助訓練は、10月に実施した自治会の活動事例を横展開したい。					
議題2 令和6年度地区防災訓練補助金について ・防災訓練補助金は、各訓練で実際使用する物品等が対象となっており、補助対象が厳しく制限されている。 ・市役所に対して補助金の対象の柔軟な対応を申し入れしたい。 → 例えば、まちぢから協議会の合同防災訓練で使用した防災物品（機材）を訓練終了後、その物品を各自治会へ配賦したらどうかという提案があった。					
議題3 その他（意見、事例） ・防災訓練時の安否確認は所定時間内で出来るが、要支援者の介助訓練は同一日にやる場合、誰が安否確認するのか難しい。 → サニータウンでは、要支援者をランク分けし、重要度の高い人を優先して、民生委員、防災リーダー、自治会で訪問している。（防災訓練でも活用） ・要支援者の内、非公開を希望している人は、自治会では把握出来ないの、いざという時に助けられない可能性がある。					
以上					
<次回の予定・内容>					
令和6年11月15日（金）14：00～15：00（全部会終了後に開催）					
出席者：					
高橋 理幸（円蔵）、		高橋 秀男（円蔵）、			
高橋 夏木（矢畑）、		浪越 哲也（浜之郷）、		石井 浩（西久保）、	
内藤 一夫（下町屋）、		長久 修三（ホームタウン）、		入沢 孝（ホームタウン）、	
吉原 弘子（TBS）、		坪井 誠（サニータウン）、		野本 泰男（アイランズ）、	
高比呂志（ホームタウン）、					
木下 操（鶴嶺東民児協会代表）、		尾坂 清（鶴嶺東コミセン）			
出席者計：14名（敬称略） 順不同					